



令和7年度1月号
杉並区立高井戸小学校
校長伊勢明子

新年を迎えて

校長 伊勢 明子

明けましておめでとうございます。

新しい年の始まりに本年が皆様にとって幸多い年に
なりますようにと謹んでご挨拶申し上げます。

今年2026年、令和8年の干支は「丙午(ひのえ・うま)」です。干支は、甲乙で始まる十干(じっかん)と十二支の組み合わせで全部で60通りですが、その43番目になります。そして丙は、十干の3番目で、植物の成長にたとえると、「芽が伸長し、葉が広がり、成長が著しい状態」を意味します。「人間万事塞翁が馬(にんげんばんじさいおうがうま)」ということわざがあります。昔、中国の塞翁という人が飼っていた馬が逃げたため、人々が慰めに行くと、塞翁は「このことが幸いを呼ぶかもしれない」と悲しむ様子はありませんでした。その後、逃げた馬が別の立派な馬を伴って戻ってきたということです。

人の幸・不幸を予測することはできません。また、一見、不幸に見える出来事が後に幸運につながったり、

逆に幸運の前兆かもと思われたのに予想外の試練に見舞われたりすることもあります。うまくいかないなあと感じられる出来事もいつか必ず好転すると信じ、最先のことの一喜一憂せず「地道に種をまき、芽を伸長させ、葉を広げる」充実した1年にしていきたいです。

杉並区においては、2026年も「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を持続・発展させながら教育活動を展開していきます。児童が何事にも主体的に考え、学んでいく学校を創っていきたいと考えます。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



高井戸小屋上から見た
お正月の富士山 ←

1月の生活目標『笑顔であいさつしよう』

生活指導部 垣村 舞

11月下旬、高井戸小学校の1階昇降口にカラフルな「げんきあいさつストリート」の看板が設置されました。朝、昇降口から聞こえる子どもたちの明るく元気な「おはようございます!」の声はとても清々しく、一日の始まりが温かく感じられます。

さて、年が明けるといよいよ3学期が始まります。3学期は1年間のまとめを行い、新しい年度へ向けて準備する大切な時期です。学習面でも生活面でも、成長を振り返りながら、次の学年につながる力をさらに伸ばしていきたいものです。また、新年を気持ちよく迎えるためにも、日ごろのあいさつを大切にし、周りの人との関わりを大切にしていきましょう。心も体も健やかに3学期を迎え、充実した日々を過ごせるよう願っています。

